

# ひょうご 森林ボランティア 第6号



兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

## 森林ボランティア団体連絡協議会に期待すること

豊かな森づくり課 課長 小野山 直樹

平素から森林ボランティア団体連絡協議会（以下「ボラ協」と言います。）の皆様にはたいへんお世話になっており、11月6日（日）に開催した「ひょうご森のまつり 2016」では皆様の御陰をもちまして、無事、盛大に開催することができました。心から厚く感謝申し上げます。

さて、平成 27 年度の里山林整備面積は 444ha となりました。この整備面積の約 9 割が森林ボランティアや地域住民の皆様、企業の CSR 活動によるもので、皆様の日頃からのご活躍に心からお礼申し上げます。

県として平成 6 年度から県民総参加の森づくりを進めており、里山林整備においては、行政主導型から森林ボランティアなどによる県民主体の里山保全の姿が出来上がりつつあると思っています。

しかし、ここに来て、ボランティア活動を担う人々の高齢化という問題が顕著になりつつあります。あるボランティア団体をお訪ねしますと、作業に参加する人数が減った上に、高齢者しか集まらない、夏場の活動は体にきつくできなくなった、これまでの整備してきたところの草刈りが追いついていないなどの悩みが聞かれました。

そこでボランティア団体へ、ここ 10 年間の活動の推移についてアンケートを行いましたところ、ボランティア団体の年齢構成はそのまま高齢化に移行、実働人員がかなり減少してきている中で年間活動日数は上昇傾向、60 歳代後半から 70 歳代の特定の人に作業が集中している、という結果が読み取れ、このままでは里山林保全活動の継続が危うい団体が多くなるのではないかと思います。

県では、担い手の育成確保のため、森林ボランティア・リーダー講座を開催して、新規森林ボランティアの参入促進とリーダーの養成進めてきた結果、12,149

人を数値上は確保しているところですが、実働人数を考えると、もっと森林ボランティア活動の新規参入者確保を本気で考えなければならぬと考えています。



県の財政の壁はとても厚いのが現状で、ボラ協の皆様が一致団結してこの現状を変えようとする力に期待するほかないと思っており、豊かな森づくり課も連携して支援してまいりたいと思います。

そのためには、県としてボラ協と連携して次のような取組みを始めてみたいと思っています。

一つには、森林ボランティア講座の募集に当たっては、環境保全に熱心な会社の退職予定者、子供たちへの影響力が大きい学校の先生、環境意識が高い大学生等をターゲットとします。これには勧誘に必要な総合パンフの作成が必要です。

二つには、「ひょうご森の日」に一般向け体験イベントを開催して、実際に楽しみながらさわやかに汗かいてもらう機会を提供する。

さらに県では、森林ボランティア講座の内容に生物多様性保全、環境学習、フィールド調査の手法、木材の利用・販売方法なども取り入れ、地域の環境に関心のある人も幅広く参加できるようにしたいと思います。講座の名前も新たに考えたいと思います。

以上のことについて、今後、ボラ協の皆様とも相談しながら、県としてできるところから取組んでいきたいと思っております。

社会情勢厳しい中ですが、ボラ協の皆さんのお力を頂きながら取組んでまいりたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。



# ひょうご森のまつり2016

1956年から毎年開かれており、今年で60回目となる「ひょうご森のまつり」。今年は、洲本市で開催されました。朝から曇り空でしたが、林業関係者や地元住民など多数の参加者で賑わいました。

当兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会も協力団体として名を連ねており、各森林ボランティア団体の紹介パネルやのぼり旗を設置し、参加者に我々の活動を紹介しました。式典では「ひょうご森づくり活動賞」の表彰や森林ボランティア団体の活動報告などが行われました。

日 時 平成28年11月6日(日) 10:00~15:00  
場 所 三熊山洲本城跡周辺(洲本市小路谷)  
主 催 兵庫県・洲本市・(公社)兵庫県緑化推進協会  
主な内容(当協議会関係)

- 1 知事、洲本市長の挨拶のあと、各種表彰の中で「ひょうご森づくり活動賞」の表彰として、当協議会会員の2団体「神戸学園都市高塚山を愛する会」、「あびき湿原保存会」と「特定非営利活動法人 鮎屋の滝ふれあいの郷「森林保全の会」」の3団体が緑化推進協会会長(知事)から表彰を受けました。
- 2 当協議会会員がのぼり旗をもって登壇する中、桑田会長が森林ボランティア活動についての報告を行いました。
- 3 地元森林ボランティア「洲本城友の会」、「淡路地区漁協青壮年部連合会」と共に、みんなの森づくり活動宣言を行いました。
- 4 「洲本城友の会」、「淡路地区漁協青壮年部連合会」、「緑の少年団」のみなさんと共に、会場内の里山林を整備しました。
- 5 当協議会ブースにおいて会員団体の紹介パネルを展示し、我々の活動のPRを行いました。また、会員プロフィール集を来場者に配布しました。



森づくり活動賞表彰式



みんなの森づくり活動宣言



里山林整備

## ひょうご森の日イベント

平成17年10月に全国育樹祭が兵庫県で開催されたことを契機に、毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」と定め、この日を中心に森づくりイベントを開催しています。「森の日」を中心とした県下各地のイベントを通じ、森の良さや森林整備の重要性を多くの人に発信し、森づくりへの参画を促すことを目的に、今年度も各ボランティア団体が、ホームグラウンドでの整備体験など多様な催しを開催しました。

「神戸学園都市高塚山を愛する会」では、今年で6回目となる「高塚山森のコンサート」を開催しました。ニュータウン開発により荒廃してしまった高塚山の一部を、自然環境保全のみならず、地域住民の健康づくりや憩いの場として整備。その森づくりの成果で、本年も森の日に先駆け、10月9日、近隣高校の吹奏楽部による音楽セラピーと森林セラピーをコラボさせたコンサートをすることができました。

前夜は雨、当日午前中は曇り空でしたが、幼児連れなど老若男女約150人が来場し、森林浴をしながら音楽を聴き、楽しい一時を過ごされ、自然とふれあい、森の素晴らしさを知って貰うと共に、森づくりへの参加のきっかけづくりを図ることができました。



森づくりに貢献のあった団体が次の賞を受賞されました。

環境保全功労者知事表彰

三田里山どんぐりくらぶ、菊炭友の会

全国育樹活動コンクール農林水産大臣表彰

こうべ森の学校



# ひょうご森づくり活動賞

森づくり活動を通じて、森林・里山整備及び地域住民との交流や人材育成を推進し、緑豊かで住みよい県土づくり、「県民総参加の森づくり」に貢献した優れた団体に対し「ひょうご森づくり活動賞」を贈呈することにより、広く県民の森づくりへの参加意識の高揚を図り、さらに市民活動の輪を広げると共に地域住民、企業、行政等との活動を促進することを目的とし、平成23年9月から施行されている賞です。

平成28年度は次の3団体が受賞されました。

## 神戸学園都市高塚山を愛する会（神戸市） 会長 内藤富夫

活動地は、高塚山並びに長坂ヒロコバ丘で、須磨区北西に隣接する現西区と垂水区の区境に位置し、かつては眺望の良いハイキングコース（徳川道の一部）でも知られた小高い里山でしたが、昭和47年からのニュータウン開発によりハイキング道（旧太陽と緑の道）は分断され、フェンスも張り巡らされ利用できなくなっていました。

その後、学園都市の開発は終わり、学園都市駅から徒歩10分程の身近で眺望も良いことから、平成20年11月、「高塚山の森を歩こう会」を発足させ、自然環境保全のみならず、健康づくりや憩いの場として、ハイキングコース復活整備活動を始めました。さらにその1年後には「学園都市高塚山を愛する会」に改名し、森づくりも始め、現在では、ハイキング道の整備、高塚山の癒しの森づくり、ヒロコバ千本桜の丘づくり、そして、森づくり等へのきっかけづくりとして、森づくり体験会、自然観察会、木工クラフト、森のコンサート等のイベントも行っています。今後も、森を育て、森を活かし、森を楽しむ活動を通して、この森を未来に引き継いでいきたいと思っています。

ヒロコバ丘の植樹風景



## あびき湿原保存会（加西市） 会長 山下公明

あびき湿原は、加西市の重要な生態系に選ばれた湧水湿原です。その貧栄養で特異な環境下には、富栄養性の高茎草本植物は侵入できず、低茎草本植物を中心とした貧栄養で特異な環境下にも耐える湧水湿原特有の植物が生育します。また植物と同様に湿原にしか見られない昆虫なども生育して居ます。

あびき湿原は、加西市の生物多様性を維持するうえで非常に重要な生態系です。

湿原の保全作業は、3年前から始まり、11月～3月の間、草木が種を落とし休眠している間に一部腰まで泥の有る湿原の草木の皆伐、持ち出しを毎年行います。あびき湿原の「いいところ」は、行政の指図が無く、保存会メンバーの有識者の指導で「生物にやさしく見学者には見やすく」をモットーに作業を進めているところです。地元を中心に近隣の市町から同好者を加えて50数名で活動中です。



間伐材を使って木道作り

## 特定非営利活動法人 鮎屋の滝ふれあいの郷「森林保全の会」（洲本市） 理事長 小嶋勝治

洲本市鮎屋にある森林が、私たちの活動地です。会員は26名で、鮎屋町内会のみなさんとともに、雑草木の刈払い等森林環境の整備と遊歩道の整備を基本とし、再生可能エネルギーによる地域元気づくり等様々な活動を行っています。

また、年に一度、次世代を担う小学生や地域住民に対して環境保全と農業水利施設等地域資源への理解を深める為「再発見探訪ウォーク」を実施しています。今後も活動を長く続けていけるよう地域住民の方と一体となって取り組んでいきたいと考えています。



再発見探訪ウォーク



## 平成28年度の活動

### ○ひょうご森まつり2016への協力（2P参照）

本年度は洲本市の三熊山洲本城跡で開催されました。当協議会のブースを設け森林ボランティア団体のPRにつとめました。また、里山林整備体験を行いました。

### ○ひょうご森の日の行事開催（2P参照）

県が定めた毎年10月最終日曜日の「ひょうご森の日」を中心に、10月～11月にかけて一般参加が可能なイベントを各団体が開催しました。

### ○会員プロフィール集の作成・配布

2016年版を作成し、ひょうご森のまつり2016で来場者に配布しました。また、加入団体にも送付します。

### ○新規団体への「のぼり旗」配布

当会に新規加入された団体に対し、活動時を示す「のぼり旗」を配布しています。今年度は2団体（こしきいわの森を育てる会、特定非営利活動法人 兵庫森林サポートセンター）に配布しました。

### ○森林ボランティア講座への協力

県主催で実施されている森林ボランティア講座は、25年度から「入門編」、「中級リーダー養成編」、「上級リーダー養成編」に分けて実施されています。今年度は7月2日を皮切りに11月27日までの期間で8回実施され、ボラ協加入団体のメンバーの方も多数参加されました。

ボラ協では平成29年度以降の講座内容について意見交換を行い、その結果を県に提言しました。

### 兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会加入団体

[神戸] 特定非営利活動法人 あいな里山茅草同人、春日台公園里山クラブ、神付・産土の森の会、神戸学園都市高塚山を愛する会、こうべ森の学校、里山倶楽部緑台、紫微嶺里山楽しむ会、特定非営利活動法人 社会還元センター グループわ、特定非営利活動法人 JUNETWORK、森林ボランティアふじわら山クラブ、とびまつ森の会、特定非営利活動法人 ひょうご森の倶楽部、フォレスト松寿、ブナを植える会、山田の里グリーンクラブ、特定非営利活動法人 豊かな森川海を育てる会、よこおみち森もりの会、六甲山を活用する会

[阪神] 芦屋森の会2001、あまがさき山仕事体験隊、川西里山クラブ、菊炭友の会、こしきいわの森を育てる会、コミュニティひばり 環境部会、ごもくやさん、里山工房(里山遊び研究会)、三田里山どんぐりくらぶ、ナシオン創造の森 育成会、花実会、大和フォレストクラブ、溪のサクラを守る会、東お多福山草原保全・再生研究会、特定非営利活動法人 兵庫森林サポートセンター、緑の環境クラブ、森を育む市民団体「もりんちゅうの会」

[東播磨] どんぐり千年の森を作る会

[北播磨] あびき湿原保存会、きすみの森林ボランティア、北はりま地域づくり応援団、ボランティアグループ「未来の家」、みつきい里山クラブ

[中播磨] 太市の郷、でるくいわーくす、林田町里山会、特定非営利活動法人 姫路シーマンズクラブ、的形ふるさと里山会

[西播磨] 善定里山作りの会、みはらし会、豊かな心いぼがわ21会

[但馬] 特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム、けびの森くらぶ、白雲山ふれあい森づくり実行委員会

[丹波] 丹波おおやま里山オーナー会、丹波の森公苑・里山倶楽部

[淡路] 井手里山を守る会、島を花と緑で埋める会

計56団体

### 事務局 兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

兵庫県農政環境部環境創造局豊かな森づくり課内

TEL 078-362-3613 Fax 078-362-3954

会報に関する問い合わせ：桑田 結(TEL090-3166-9785)



緑の募金

### 「緑の募金」にご協力ください！

公益社団法人兵庫県緑化推進協会

森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地で行っています。

<http://www.hyogo-green.net/>

#### 郵便振込

手数料が不要になる専用の払込取扱票用紙をお送りしますので、(公社)兵庫県緑化推進協会へ直接お問い合わせください。

#### 銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所

普通 3198438(振込手数料が必要)

名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

問合わせ：TEL 078(341)4070 FAX 078(341)4071

#### 事務局からのお願い

■当協議会の活動は構成団体のご協力と年会費千円にて運営しています。未納なきよう宜しくお願いします。

■メールで助成金などの情報提供をしています。未登録の団体で、希望される場合は以下のメールアドレスまでご連絡ください。

(担当：豊かな森づくり課 樋口)

yutakanamorizukuri@pref.hyogo.lg.jp

